

平成 25(2013)年度 基幹研究報告

■テーマ

少子高齢社会における人口の変化と市政への影響に関する 調査研究Ⅱ

—人口移動要因と将来における行政課題の把握—

■研究報告書 要旨

高齢化と低い出生率を背景として、わが国の人口減少のテンポは今後ますます加速しています。日本全体が人口減少の大きな流れにある中で、本市の人口もその影響を受けることは言うまでもありません。しかし、本市の人口は平成17年度（2005年度）以降に微増傾向が続いています。

そこで本調査研究は、本市における人口の状況を明らかにするとともに、今後の人口変化とその市政への影響を展望し、人口減少・少子高齢社会における豊中市の政策形成に寄与することを主たるテーマとし、平成24年度（2012年度）から実施しています。

2年目となる平成25年度（2013年度）は、アンケート調査により移動世帯の移動・定住要因について検証するとともに、人口推計や市役所内研究グループによる討議により、人口に起因する将来の課題抽出を実施し、提言を行っています。

■研究報告書 目次



第1章 はじめに

第2章 移動世帯の移動・定住要因の検証

第3章 人口の推計

第4章 各行政分野における課題の抽出

第5章 おわりに